

## 会員への情報提供と若手研究者に対する育成支援事業

□(公社)北海道豆類価格安定基金協会委託事業に係る現地調査  
研究者と同行して、受託した課題に係る現地調査を行いました。  
(七月六日・一三日、八月一七日・一八)

□自主研究「准組合員問題に関する調査研究」に係る現地調査  
(七月九日)  
研究者と同行して、研究課題に係る現地調査を行いました。

□北農五連委託事業に係る研究班会議  
(七月一〇日・二一日、八月八日・九日・二九日、九月十一日)



今年度、北農五連から受託した課題について、テーマ別に研究者が同席して打ち合わせを行いました。

□(一社)日本協同組合連携機構(JCA総研)が来所  
(七月二二日)

JCA総研基礎研究部高橋良春主席研究員が組織変更・新名称に伴う事業説明に来所されました。

□北農五連委託事業に係る現地調査  
(七月一八・二〇日、九月十一日・十二日・二〇日)  
今年度、北農五連から受託した課題について、テーマ別に研究者と同行して現地調査を行いました。



□北海道農産物協会委託事業に係る研究班会議

(七月一九日、九月三日)

今年度、北海道農産物協会から受託した課題について、研究者が同席して打ち合わせを行いました。

□JAカレッジ委託事業に係る現地調査

(七月一九日・二七日、八月二三日)

研究者と同行して、受託した課題に係る現地調査を行いました。

□北海道農業公社委託事業に係る研究班会議

(七月二〇日、八月二〇日)

今年度、北海道農業公社から受託した課題について、研究者が同席して打ち合わせを行いました。

□「平成三〇年度事業計画説明会」の開催 (七月二三日)

(1) 北農五連幹部職員を対象に説明会を開催し、業務推進状況を報告しました。

(2) 説明会終了後、研究事業報告



会を行いました。

① テーマ…「十勝育成牧場の役割、土地利用と飼料生産の評価について」

② 報告者…高木正季氏(協力研究者)・元北海道立農業大学校部長・十勝農協連主任技師)

③ この講演の概要などは、本号の「研究所だより」に掲載しています。

□自主研究「農村生活史・農協による生活インフラの形成と課題に関する調査研究」研究班会議

(八月三日)

研究者が同席して、研究班会議を開催しました。

□自主研究「六次産業化・農商工連携の展開と農畜産物・食料市場のニューウェーブに関する調査研究」研究班会議

(八月六日)

研究者が同席して、研究班会議を開催しました。

□ホクレン委託事業に係る研究班会議

(八月二二日)

研究者が同席して、研究班会議を開催しました。



□北海道農産物協会委託事業に係る現地調査 (九月四日)  
研究課題に係る現地調査を行いました。

□農研機構生研支援センター委託事業に関する推進会議

(九月四日)  
今年度の調査計画に係る内容確認と、具体的な調査方針について協議しました。

□自主研究「消費者交流事業の展開とその効果に関する調査研究」研究班会議 (九月三日)

研究者が同席して、研究班会議を開催しました。

□「平成三〇年度出版助成事業に係る選考委員会」の開催 (九月一四日)

(1) 若手研究者の育成支援事業として取り進めており、慎重な検討を経て助成が承認されました。

(2) 助成対象出版書籍

① 書籍名 (仮)「農業における派遣労働力利用の成立条件  
(派遣労働力は農業を救つのか)」

② 申請者 高畑 裕樹 氏

(富士大学経済学部経済学科講師)

③ 出版社名 筑波(つくば)書房

④ 出版期日 平成三二年二月予定  
(3) 選考委員会の選考理由

本書の目的は、農業への派遣労働力が増加傾向にあり、大規模化・集約化が進展する我が国の農業に於いて、その活用と成立条件を先駆的に解明することとしており、学術的にも農業生産振興に於いても極めて重要な課題として研究提示したことを評価し、併せて、中堅・若手クラスの執筆者の今後の研究活動に期待して、出版助成の対象とするよう推薦しました。

□自主研究「准組合員問題に関する調査研究」研究班会議 (九月二五日)

研究者が同席して、研究班会議を開催しました。

□北海道農業公社委託事業に係る現地調査

(九月二四～二六日)  
研究課題に係る現地調査を行いました。

□今後の予定

(1) 第四回理事会の開催(期日は未定です)

(2) 農業総合研修会の開催(地方都市での開催を計画しています。期日は未定です。)